



いのちの大切さを考える絵本（幼児～小学生向け）

# 「みとめあうってすてきだね」7

読み聞かせを楽しみながら いのちの大切さを考えてみませんか？

市内5つの図書館で借りられます。



東村山市立図書館

**うさこちゃんと一なちゃん** ディック・ブルーナ/ぶん・え まつおかきょうこ/やく 福音館書店

一なちゃんとうさこちゃんのおともだち。とおいがいこくにすんでいます。あるひ、一なちゃんがひこうきにのってあいにくきました。はだのいろはちがうけれど、ふたりはなかよしです。

**さっちゃんのまほうのて** たばたせいいち・先天性四肢障害児父母の会・のべあきこ・しぎわさよこ /共同制作 借成社

さっちゃんのようにえんでは、おままごとあそびがさかんです。さっちゃんがおかあさんのやくをやりたいといったら、「さっちゃんはおかあさんにはなれないよ！だって、てのないおかあさんなんてへんだもん。」といわれてしまいました…。

**あいつとぼく** 辻村ノリアキ/作 羽尻利門/絵 PHP研究所

いつもらんぼうでじぶんかってなあいつと、うんどうのがてなぼくが、うんどうかいで、ににんさんきゃくをやることになった。だめだ、あいつとじゃうまくはしれない。どうなる？うんどうかい。

**たかこ** 清水真裕/文 青山友美/絵 童心社

てんこうせいのたかこはふつうの子とすこしちがう。ことぼづかいもへん。えんぴつのかわりにすみをすってふでをつかう。でも、いっしょにすごすうちに、たかこはすっかりみんなのともだちです。

**ぼくは、チューズデー 介助犬チューズデーのいちにち** ルイス・カルロス・モンタルバン/文  
ブレッド・ウィッター/共著 ダン・ディオン/写真 おびかゆうこ/訳 ほるぷ出版

戦争で大きなけがをしたルイスさんはいろいろなことがうまくできなくなった。でも介助犬のチューズデーがそばにいて、何でも手伝ってくれるよ。ルイスさんとチューズデーの一日を追った写真絵本。

**ジャガーとのやくそく** アラン・ラビノヴィッツ/作 カティア・チエン/絵 美馬しょうこ/訳  
あかね書房

言葉がうまく出てこないぼく。でもお気に入りの動物園のジャガーにはちゃんと話すことができた。大人になったぼくはジャガーの研究者になって、ジャガーを守るために何ができるかを考えた。

**わたしのせいじゃない せきにんについて** レイフ・クリスチャンソン/文 にもんじまさあき/訳  
ディック・ステンベリ/絵 岩崎書店

わたしのせいじゃない、ぼくはしらない、ひとりではとめられなかった…、日常にあるいじめから社会問題まで、ひとりひとりの行動や考え方を問われる絵本です。

【平成 29 年度（2017 年度） 東村山市「いのちの教育」推進プラン関連事業 平成 29 年 12 月発行】